

安城市PRアンバサダー就任！ 地元が生んだプロレス界のスーパースター

その男、レインメーカー

圧倒的強さとスター性
オカダ・カズチカという男

黄金色に輝くガウンに身を包み、入場テーマ曲『レインメーカー』とともに姿を現したのは、安城市出身のプロレスラー、オカダ・カズチカ選手。191cmの長身と人並外れた身体能力から繰り出される打点の高いドロップキックや、一撃必殺の得意技レインメーカーは、フィジカルで勝る外国人選手も倒れ込む破壊力だ。一方で、端正な顔立ちと存在感あるフアイティングスタイルで女性層の心を掴み、プロレス好きの女性『ブ女子』ブームの立役者となった。バラエティー番組への出演も数多く、自身がパーソナリティを務めるラジオ番組も配信している。

試合でのマイクパフォーマンスにも華があり、観客の心を離さない。そんなエンターティナー気質はどのように育まれたのか。彼が安城市で過ごした日々を追った。

有言実行、文武両道 資質は少年時代から

田園風景が広がる安城市で幼少期を過ごしたオカダ選手。田んぼでおたまじやくしやザリガニを捕って遊んだ。小学5年生の時には自ら望んで母親の故郷、長崎県五島列島に親元を離れて山村留学している。自分の意志を貫く姿勢はその頃から変わらない。中学は安城市の公立校に進学。野球部に所属する一方で、陸上競技の愛知県大会に出場すると上位の成績を残した。



①自身の顔が刷り込まれたレインメーカーカードが舞う入場シーンは、新日本プロレス随一の華やかさ。②神谷市長より委嘱状が交付され、「安城市PRアンバサダー」に就任。③凱旋試合は東祥アリーナ安城で開催。「ぜひ現地で観戦して、プロレスの魅力にハマってほしい！」と語った。④天を仰ぎ両手を広げた「レインメーカーポーズ」。会場を沸かせるセンスはエンターティナー



オカダ・カズチカ選手

1987年11月8日生まれ・安城市出身。身長／191cm 体重107kg

【主なタイトル】

IWGP世界ヘビー級王座、IWGPヘビー級王座、G1 CLIMAX 22優勝、G1 CLIMAX 24優勝、G1 CLIMAX 31優勝、G1 CLIMAX 32優勝、NEW JAPAN CUP 2013優勝、NEW JAPAN CUP 2019優勝



Twitter

Instagram

今年5月、安城市PRアンバサダーに就任したプロレスラーのオカダ・カズチカ選手。

「プロレス界にカネの雨を降らせる男・レインメーカー」の異名をもち、強さと華やかさが同居する。市制70周年、新日本プロレス創立50周年、レインメーカー誕生10周年が重なる記念すべき年に、東祥アリーナ安城で凱旋試合が開催される。

あった。そんな文武両道のオカダ少年にスポーツ推薦と学力推薦での高校進学の話が持ち上がる。しかし15歳の選択は、プロレス団体「闘龍門」への入門だった。

自分が信じるプロレスの道へ レインメーカーの誕生

両親の後押しもあり、プロレスの世界へ飛び込んだオカダ少年。16歳でメキシコでデビュー戦を飾り、同年末にはヤングドラゴン杯を制覇。2007年に闘龍門卒業、新日本プロレスへ移籍する。その後はトップ戦線に食い込むべく奮闘し、2010年に無期限の海外武者修行を敢行。一番の転機はこの海外での日々です。言い訳は無用、強くなるしかないという状況に自分を追い込んだことが、今のレインメーカーの基盤に「なっています」と追懐する。

帰国後はスターへと駆け上がる。「プロレス界にカネの雨を降らせる男」の冠に違わず、着実にファンを増やし新日本プロレスを盛り上げてきた。そして今年8月「G1 CLIMAX X32」で優勝。リングの上でマイクを手にする来年1月4日の東京ドーム大会でのIWGP世界ヘビー級王座への挑戦を明言。例年のように挑戦権利証の防衛戦をせず、G1 CLIMAX自体の価値を上げる意味があった。慣例を覆しても実現させたかった、IWGP世界ヘビー級王者とG1 CLIMAX覇

者による東京ドームでの一戦。頭には、東京ドームでエキサイトする満員の観客の姿があった。「もっと熱い戦いをして、会場に来て応援してくれるお客さんで東京ドームを超過員にして、プロレスが好きでよかったと思ってもらいたい」。感謝の言葉とともに、そう語った。

安城市にPRの雨を降らす 念願の凱旋試合が決定

今年5月、オカダ選手は安城市PRアンバサダーに就任し、全国に向けて安城市の魅力を発信している。「市民のソウルフード『北京飯』は必食です。僕も物心つく前から食べていて、興行の差し入れにも持っています。梨やいちじくなどの果物もおいしいし、稲作も盛んで日本のデンマークと呼ばれるほど農業先進

都市です。新幹線で通過するだけの駅ではなく、ぜひこの地に降り立つて魅力を知ってもらいたい」と地元愛を語った。PRアンバサダーとして訪れた丈山苑の和風庭園に感動し、おすすめのフोटスポットだと教えてくれた。

11月12日には38年ぶりに安城市で新日本プロレスの試合が開催される。地元もオカダ選手自身も念願だった凱旋試合は、チケットも瞬く間に完売した。「オカダ・カズチカはここまで大きくなったんだと成長を見てもらいたい。恩返しはまだ先です。もっとビッグになって安城市といえればレインメーカー、オカダ・カズチカと言われるくらい有名になります」。安城市を、新日本プロレスを背負って立つ男は、まだまだ道半ばにいます。

もっと知りたいオカダ・カズチカ選手

Q 試合前の勝負飯

A ルーティンとして吉野家の牛丼を食べます。大盛り・トッピングなしで、七味や紅生姜も加えません。つゆたくにもせず、ノーマルいただきます。

Q 地元の思い出の場所は？

A 中学時代はよく堀内公園でランニングをしていました。北京小堤店には今もよく行きます。お店の方もお客さんも応援してくださって感謝しています。

Q 家族ができて変わったことは？

A 家に帰るのが楽しみになりました。長期間の巡業から帰って、息子の顔を見て癒されています。あとは、よりケガや健康に気をつけるようになりました。

Q オカダ的プロレスの楽しみ方

A 音や衝撃をライブで味わってほしいです！体の大きな選手の戦いぶりにびっくりしてほしいし、小さな選手が巨体をリングに沈めるカッコよさも感じてほしい！

得意技「レインメーカー」を決めるオカダ選手。驚異的なスタミナで終盤に繰り出すレインメーカーに観衆は総立ち！